月刊 あなたにこの本を！ 平成 22 年 8 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

…字が大きめ　…中高生にも　…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

世界の市場

松岡絵里　著　吉田友一　写真
国書刊行会　1890 円　(0012045947)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

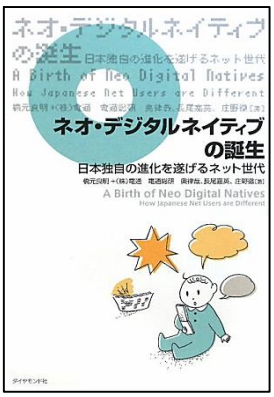
幼少の頃を台湾などで過ごし、新婚旅行も1年8カ月をかけて世界一周した著者が世界の市場を語る。東南アジアのかわいい雑貨市場、大都会パリのマルシェなど約100の市場を地図や営業時間などの詳細データ付きで解説。市場を歩く中で感じたその土地ごとの人や商品の特徴を、豊富な写真を交えて紹介しており興味深い。値段交渉や荷物の用心など、実際に市場歩きをするときのコツにもふれている。その楽しそうな様子から思わず訪ねてみたくなる。〔290〕

大阪の橋ものがたり

伊藤　純、橋爪節也、船越幹央、
八木　茂　著
創元社　1680 円　(0012065127)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

大阪には、昔から「八百八橋」と呼ばれるほど、数多くの橋が存在する。本書では、鯨の骨で作られた瑞光寺（東淀川区）の雪鯨橋（せつげいばし）や、橋の下には川ではなく「電車が流れる」阿倍野橋など、88 の橋にまつわる興味深いエピソードを紹介する。4人の著者による豊かな知識に裏付けされた文章は、読み手の知的好奇心を刺激する。豊富な写真や図版を交え、深い歴史が息づく大阪の街を違った面から再発見することができる。〔515〕



ネオ・デジタルネイティブの誕生
ー日本独自の進化を遂げるネット世代ー

橋元良明、奥　律哉、長尾嘉英、
庄野　透　著
ダイヤモンド社　1575 円　(0012042994)

ジャンル ： 現代社会を考える

ネオ・デジタルネイティブとは、物心ついた時から主に携帯電話を使ってインターネットにアクセスしてきた世代を指す。本書は、現在の中高生にあたる彼らの実態や、円滑に接するコツ等について、豊富なデータを用いて分析、わかりやすく解説する。対面的な付き合いには疲れを感じる彼らだが、「ほとんどの人は信頼できる」と社会一般への高い信頼感を持つという指摘は興味深い。閉鎖的といわれる日本社会を変える可能性のある世代に注目した一冊。〔549.802〕

ミラクル・ジャーニー ーわが子を癒したモンゴル馬上の旅ー

ルパート・アイザックソン 著 入江真佐子 訳
早川書房 2730 円 (0012057318)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

米国在住でジャーナリストの著者が自閉症の5歳の息子と妻を連れて、モンゴルの山奥に住むシャーマンに会いに行く旅を記録したノンフィクション。車と馬を乗り継ぐ過酷な旅で神秘的な儀式に触れ、大自然の中で過ごすうちに、息子のローワンに劇的な変化が見られるようになった。ローワンに振り回される生活に苦悩していた著者が、旅を終えた後、自閉症をローワンの本質の一部として受け止めるにいたった姿に、家族のあり方を考えさせられる。〔G アイサ〕

茶馬古道の旅 ー中国のティーロードを訪ねてー

竹田武史 著
淡交社 2520円 (0012060594)

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

世界の茶樹のルーツといわれる中国・雲南地方の茶をチベットに、チベットから雲南へは馬を運んだ「茶馬古道」。本書は、険しい山河を越え街をたどり、のべ7カ月かけ丹念に取材した旅の記録である。「茶樹王」とよばれる巨木や、お茶の漬物など、暮らしのなかに息づくお茶の魅力に触れる。多彩な民族文化が、美しく貴重な写真と飾らない言葉で、紹介されている。長年、西南中国の少数民族の撮影に取り組んできた著者の温かい視線が感じられる。〔292.23〕

家族の勝手でしょ！ ー写真 274 枚で見る食卓の喜劇ー

岩村暢子 著
新潮社 1575 円 (0012023013)

ジャンル ： 現代社会を考える

子どもがいる首都圏の家庭を対象におこなった食卓調査から得た近年の傾向をまとめた本。著者は、アンケート・食卓の写真を集め、解説を添える。メニューが、おにぎりとパンとスパゲティの主食だけ、お菓子だけの朝食、買ってきた惣菜だけなど、状況はさまざまだ。食事作りや食生活を調査することで、知られざる現代の家庭の食事が映し出される。家庭を取り巻く事情や家族の意識の変化も垣間見られ、食のあり方について深く考えさせられる。〔498.5〕

DNA鑑定は万能か ーその可能性と限界に迫るー

赤根 敦 著
化学同人 1680 円 (0012052152)

ジャンル ： 知識・教養を深める

DNAは体のあらゆる組織から抽出することができ、個人識別や親子関係の証明などにおいて重要な証拠となり得る。本書では、DNA鑑定法の手順やしくみなど、専門的な事柄を丁寧に解説する。20 年以上研究を続けてきた著者は、その有用性を説きつつも、火葬された骨など分析困難な例を挙げ、一般の人々の過度の期待や信頼に警鐘を鳴らす。事件報道などで、よく見聞きするDNA鑑定について、技術的な面を掘り下げ、わかりやすく説明してくれる。〔498.9〕

奇蹟(きせき)の画家

後藤正治 著
講談社 1785円 (0011983455)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

神戸の下町にひっそりと暮らし、49 歳で初めて個展を開いた清貧の画家石井一男。彼は童女のような女神像を無心に描き続けている。本書は、画商・島田誠との出会いによってその絵が知られたいきさつや、二人の深い交流をつづったノンフィクションだ。闘病中に彼の絵に心打たれ、それを病室に置くことで病を克服する勇気を得た男性の話など、感動的なエピソードも興味深い。じっと眺めていたくなる安らかな表情の女神に、私たちの心もいやされる。〔723.1〕